



# ぼらんていあ通信

12月号  
通巻 No.505

発行/NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年12月19日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX:042-759-7982 Eメール:sagamiva@feelocnr.jp HPアドレス:https://sagamivainfo/

## ほかほかふれあいフェスタ2023冬

### 障害者週間キャンペーン開催!

演じる人も見る人も寒さを吹き飛ばして!!



- ★《ステーションプログラム》
- ★ヒップホップダンス
- ★車椅子ダンス
- ★ダンスとトーク
- ★バンド演奏
- ★よきこいソールン
- ★バンド演奏
- ★大道芸人TAKUMI



加藤実行委員長の開会挨拶



去る11月25日(土)小田急相模大野駅北口サンデッキで、ほかほかふれあいフェスタ冬バーションが開かれた。当日は急激に気温が下がると予報が出ていたが、それほど寒くなかったのは何よりだった。

ボランティアの皆さんと関係団体の方々が10時からパネル展示設置やステージの準備を進め予定通り12時に藤井さんの司会で始まった。

開会の言葉で加藤実行委員長は「12月6日から9日までの障害者週間に先立ち、ほかほかふれあいフェスタ2023冬を開催いたします。木工や陶芸などの自主製作品などの販売やステージパフォーマンスなどもあります。ゆっくりと楽しんでください」と挨拶された。

#### ★ヒップホップダンス

(S. N. D. F)

個性豊かなグループがダンスを披露! 2〜5歳までのチビっ子4人組の愛らしいダンス。

- ・小学5年生の女の子と専門学校1年生の男性2人のダンスは先生と生徒さんという異色の組み合わせ。
- ・アクロバットも入るブレイクダンス。
- ・2〜5歳までで女の子1人が入っている4人のチビっ子グループ。
- ・小学校が一緒だった女子高3年生の5人、勢いがあってチーム力抜群。発表する場があるとやる気もアップするぞう。
- ・アイドルグループ4人組。アイドルの名にふさわしいパンチのきいたダンス。



#### ★車椅子ダンス

(相模原障害者)

ダンスを楽しむ姿

青いTシャツに黄色いブレスレット、介添えの人は水色。まわったの一直線になったり

フォーメーションに工夫を凝らしている



る。サザエさんからテネシーワルツまで6曲を楽しく優雅に舞う。

#### ★ダンスとトーク

(チームオンリーワン2023)

揃いの赤いマスクと赤い手袋を身につけ、リズムカルなダンス。何より元気のいい所が持ち味。このチームは精神保健福祉センターと一緒に活動しているボランティアの方々の演奏。

#### ★バンド演奏

(ウクレレマイスターズ)

学校の先生方により編成されているサークル。相模原療育園、松ヶ丘園、ロシナンテ、太陽の門などの福祉施設で演奏活動をしている。さんぽ、トトロ、函館の人、なだそうそう、ホワイトクリスマス等、レパートリーも多岐にわたっていて聴く者を楽しくさせてくれた。



\*次ページに続きます。

★おきじゅんーん (おきじゅんー心)

3歳から70代まで幅広い年齢層で互いに助け合い活動している。一人でも多くの皆さまに踊りを通して元気をお届けできたらと願っている。『一心』と背中に書かれた長い半纏を着た踊り子と大きなのぼりを振る旗士たちが会場いっぱいエネルギー溢るな踊りを繰り広げると観衆も手拍子で応じるなど、会場は大盛り上がりとなった。



★バンド演奏 (チヨップスティックス)

特別支援学校の先生方で結成されたバンド。今宵の月のように、メロディー、T-SUNAM I、君がいるだけで、ナキムシのうたの5曲を披露。時に響くサクソの音色と女性の澄んだ歌声が印象的だった。



★大道芸人 TAKUMI

ジャグリングやバランスボールを使った演出に感心したり、ハラハラしたり。話芸が上手なのでしばし時を忘れてTAKUMIワールドに浸っていた。



ステージプログラムをすべて終了し、閉会の言葉が鈴木副実行委員長から「ほかほかふれあいフェスタ2023冬が無事幕を閉じることができました。ボランティアの皆さんと関係団体の方々、スタッフの皆さんの協力の賜物です。心より厚く御礼申し上げます。また来年2024年のほかほかフェスタ冬でお会いしましょう」と呼びかけられた。

今年もさまざまな若者サポートステーションの若者名が参加し、写真撮影をしてくれた。社会福祉法人さがみ愛育会ののびやかさんによる木工、陶芸などの販売コーナーもずいぶん賑わっていた。

(山崎)



1月の記念日は?

小倉義男

1月20日、甘酒の日です。日本の伝統的な飲み物であり発酵食品である甘酒の良さ、おいしさを多くの人に知ってもらいたいと、1969年から瓶入りの甘酒を販売してきた森永製菓株式会社が発起人。日付は、甘酒は疲れを癒し、身体が温まる飲み物として大寒の頃がもっとも飲まれていることから制定。



【出典:(一社)日本記念日協会より参照】

クイズに挑戦

親子ごとの貧困クイズです。(チャム HAPPY 計画サバイバル実行委員会作成より)



- ①家庭のお金の使い道のうち、教育に使う割合が日本より大きい国は次のうちどれか?
- ②フランス ③スウェーデン ④韓国 ⑤イギリス
- ③学校などの教育機関に対して、国のお金を一番使っている国はどれか?
- ④アメリカ合衆国 ⑤日本 ⑥アイスランド

③日本の公立小学校は、授業は無料ですが、給食や遠足などのお金を保護者が払うことが必要です。チャムのお金1年間の振り返り。

- ⑦ 10万REVENUS ⑧ 1万REVENUS
- ⑨ 50万REVENUS ⑩ 100万REVENUS

市内施設訪問記



「地域生活を安心して送る力を  
發揮できる支援を」  
社会福祉法人相模原市社会福祉事業団  
障害者支援センター（松が丘園） 多機能型事業所



今回は木々が色づく淵野辺公園の南隣に位置する松が丘園におじゃましました。

ボク協とはいろいろな縁がありますが、10月のほかほかからあつこエントナでは出店していただいた手作りのパン「麦の穂」「長蛇の列ができたのは記憶に新しいJUNIOR」。

実は「松が丘園」という名前が建物全体の名前なんです。『障害者支援センター多機能型事業所』がこの通所施設の名前なんです。取材の案内をいただいたのは多機能型事業所のサークル管理責任者、渋谷美紀さんと。一時クア事業、就労相談や生活相談の部署、そして今回訪問した多機能型事業所など様々な障害者支援事業や部署が松が丘の地に集まっていますのが松が丘園なのだそう。

喫茶「麦の穂」でもおられる多機能型事業所の中でも就労関連の事業を中心に利用者の方の活動の様子を見学させていただきました。

☆自立訓練（生活訓練）事業



渋谷美紀さん

【企業受注の作業や運動プログラム、ビルメンテナンス講習、金銭管理など多彩なプログラムを実施し自立した生活や将来の就労に必要な能力を身につける支援を行う事業】

高等学校等を卒業したあと、具体的な仕事を経験しながら社会性を身につけたり、資格を取ったりと2年以内の通所をします。介護技術の講座もあり、訓練室に伺った時には「介護職員初任者研修」の資格試験に向け、10名あまりの方がそれぞれ教科書を広げ勉強に集中していました。また、よわこいを踊る活動で芸術祭に参加したり、プロシエクターで写す大型紙芝居を演じるなど生活を楽しく社会参加も経験するそうです。楽しみがあつての生活ですね。



勉強中の自立訓練生の方々

☆就労移行支援事業

【企業受注や食品製造、喫茶接客の作業を行うとともに、面接対策講座やビジネスマナー講座等の多彩な支援プログラムを実施し一般就労をめざす方々への支援を行う事業】



パン工房と坂内さん

喫茶「麦の穂」の厨房や店内で毎日作業をしています。ほかほかフェスタに美味しいパンを作って持ってきて販売したのもこの利用者さん。ちょっと休憩をとっていらした利用者の坂内さんにお話を伺ったところ、おすすめのパンは塩バターパンですが、僕の得意なのはチーズパンとのことでした。撮影も快諾、エプロン・重帽の仕事着を整えていただきました。きちんと丁寧な話し方で就職をめざしている最中とのこと、就職成功をお祈りします。

☆就労継続支援B型事業

【看板製作、印刷、企業受注（組み立て、仕分け、封入など）の作業を中心に、生産活動を通して就労意欲・生産能力の維持を図りながら、個々の目的に応じた柔軟な支援を行う事業】

部屋では中古の分別作業中。文字のカッティングの機械や大型看板の作業台もあり、ボク協の今夏新調した福祉有償運送の看板はここで作られたようです。利用者の方は就職した経験があるなど、年長の方も多く、リフレックスとして作業していらっしゃいました。事業所では工資を支払いながら、「何のために働くのか」「自分の将来の生活は」を、利用者の方が考える機会を作り、仕事へのモチベーションを高めることを大事にしていきます。

また、どの部屋も少人数で穏やかな雰囲気、利用者の方は居心地が良さそうです。ここで仲間ができたと言っている方が多いというのも頷けます。人との関わりを楽しめる「仕事をやる力」の一つかもしれないと思いました。「麦の穂」のパンのおいしい意識かれて訪問したのですが、外からではわからない利用者の方のひたむきな姿勢や職員の方の支援の熱さに触れることができ、良い訪問でした。お忙しい中を対応していただきありがとうございました。渋谷さんに感謝いたします。



麦の穂の看板



(恒藤・杉崎)

\* 社会福祉法人相模原市社会福祉事業団  
障害者支援センター 多機能型事業所  
〒252-0223 相模原市中央区松が丘 1-23-1  
☎: 042-758-2121 FAX: 042-758-7070

理事会報告

12月9日(土) 理事会(理事の名出席)

1、委員会報告

《広報委員会》

・ぼら通部会

ぼら通11月号發送作業は若サポ5名、ボランティア2名に参加いただいた。

・情報部会

ぼら通11月号をFacebookとボラ協ホームページにアップ。今後、春の講座のチラシアップ予定。

《事務局委員会》

・ほから後の反省会、年末年始の体制について。

《講座検討委員会》

・春講座のチラシ印刷、配付先、広報かがみはら記事掲載依頼について。

《傾聴委員会》

・大野中地区社協で傾聴説明講座20名参加。

・12月4日高齢者世帯が多く住む大型マンションで傾聴説明講座実施。

・2月に情報交換会開催予定。

《映像企画実行委員会》

・現在製作中。来年は若サポと協働で製作予定。

2、その他

・11月25日 障がい者週間イベント「ほかられのー環」に参加。啓発チラシを6000部配布。

・3月のボランティアまつりにも今年も参加予定。

・長年ボラ協で保管をしておいた文書について整理を始める予定を検討中。

次回理事会は2024年1月13日(土) 11時から



お願い

あなたの力をハンディキャップの  
運転ボランティアに!

新しい運転手さんの活躍、これまでの運転手さんも運行回数を増やしてくださるなど、ハンディキャップの活動が順調になってきました。でも、まだまだ募集中なのです。

なぜか月に数回は利用者さんの予約が集中する日があったり、運転手さんの都合のつかない日が重なったりします。事務局では、予約1週間前のその日まで運転手さんを探して電話を掛け続け、引き受けてくださる方が決まれば、「決まったよ〜」と大喜びで事務局員のグループLINEで知らせる状態が続いています。

利用者さんの新規入会の問い合わせの電話も増えるばかりです。

運転の資格や技術は特別難しいものではなく、自分の身内をいたわるような気持ちがあれば充分です。70代から始めた方、女性も増えており、ハンディキャップ委員会、事務局のフォローも手厚く心配は不要です。同乗体験もいつでも受け付けます。

どうかあなたの空いている時間と力をハンディキャップにお貸しください。また、お知り合いの運転が可能な方を是非ご紹介ください。

\*問い合わせ

ボランティア協会事務局 (10:00~15:00)  
042-759-7982



相模原ボランティア協会 1月の予定

日	時間	内容
11(木)	12:30~	広報委員会・ぼら通部会
13(土)	10:00~	ボラ協のあり方検討会議
	11:00~	理事会
15(月)	10:00~	映像企画実行委員会
17(水)	13:30~	傾聴委員会
20(土)	13:00~	ハンディキャップ・事務局合同委員会
23(火)	10:30~	ぼら通1月号印刷・発送

ケイソクさん



①はの韓国

教育機関(学校など)の支出で保護者が負担する割合は、韓国が約40%と大変高く、日本も約30%の割合に高くなります。

(出典:『図表で見る教育OECDインシクレーター』)

②はのアイスランド

経済協力開発機構(OECD)に入っている28カ国の調査では、アイスランドでは国の予算の7%以上を教育機関に使っています。日本は約3%でなんと28カ国中28番目。

(出典:『図表で見る教育OECDインシクレーター』)

③はの10万円

学校給食費が4万937円、教材費や遠足代などの学校教育費が5万6655円、あわせて1年間19万7592円のお金を保護者が負担しています。

(出典:文部科学省『平成18年度子どもの学習費調査』)



相模原市民の集い社会福祉功労者に立石雅子さん

相模原市社会福祉協議会顕彰者には松原 俊 さんが表彰されました！



あじさい会館を会場に社会福祉功労者の表彰と社会福祉協議会顕彰者表彰が行われました。今年度は久しぶりに入場者の制限がなくなり、家族や関係者の見守る中での表彰式となりました。

当ボランティア協会の活動としてはお二人が表彰でしたが、ほかに当協会の会員の小川進さんが「相模原誘導グループ」の活動に対し、岸千枝さんが「ボランティアグループ」の活動に対し、瀬戸晴彦さんが「傾聴花みずき」の活動に対し、福祉功労者として同じく表彰されました。ボランティア協会の皆さんの活躍の場の広さ、ボランティア精神の深さを改めて感じ、取材をする側まで誇らしい気分になりました。

立石さん、松原さんのお二人には感想を寄せさせていただきました。



立石雅子さん

本日の表彰ありがとうございました。ポラ協の皆様のおかげで活動を続けてこられた事に感謝しています。

協会には事務局員として入会し、事務局には10年近くお世話になりました。今は切手グループで活動しています。このグループは昭和61年から始められた歴史があり、活動の利益を毎年協会へ寄付しています。

事務局では手芸サークルを立ち上げ、毎年桜まつりなどのイベントで手作り作品をバザー

で販売し、売上げを寄付してきましたが、諸事情により今年の桜まつりを最後に活動を終わらせることになったのは残念なことです。

長年続けてこられたのもボランティアに協力する皆様のおかげで、楽しい時間を過ごすことができたおかげです。これからも楽しみながら活動を続けたいと思います。

「ボランティアを楽しまなくては」「協力しあい、時には悩みごとなどを聞いてくれる仲間たちに恵まれ、楽しく過ごせたから続けられたとおっしゃる立石さん。手芸サークルは閉じても、これからクロスステッチなどの刺繍を続けたいとのことでした。作品が完成したら見せてくださいな。



松原俊さん

自分は、傾聴活動を始めて7年目になります。これまで利用者が12名、活動回数が300回ほどになりました。その中で自分の傾聴活動に大きく影響を与えてくれた方がいます。

活動を始めて、3年目で初めて自分が主担当になった方です。その方はかなりの難病で、脳梗塞のため言語の発音及び下半身が不自由で、視力は、片方は失明で、もう片方は白内障でかなりの弱視で自宅に引きこもりがちで、日常会話はほとんどなく、外出は2か月に1回の定期健診だけでした。

傾聴開始当初、その方は、自分の現状を悲観

し、かなりの自虐的で自殺することを常に考えている状況でした。自分たちは、当初、お話を真剣に聴いているつもりでしたが、その方の言語が不自由なためなかなか理解できず苦慮していました。でも、傾聴回数が増えるにつれて発声もスムーズに滑らかになり、我々に一生懸命に話そうと努力してくれる姿勢をみていくと、何を伝えたいのか徐々に理解できるようになりました。その方はかなりの博識で、すごい人生経験を積んでこられたユーモアがあり、それからはお互いに笑顔が増え、冗談も出るようになり、楽しい傾聴になりました。その方は、毎回不自由な体で我々を玄関まで出迎えてくれ、帰る時にも「次回が楽しみだ」と見送ってくれました。傾聴を開始して1年ぐらいたったが、ふと「傾聴って、いいよね、自分が健康だったらやってみたかったよ」と言ってくれ、自分はずいぶん楽になりました。

その方と接して、真剣に話を聞き、言葉や真剣に聴き、何を伝えたいかを理解するのを学び、自分の傾聴活動に大きく影響を受け、今、現場で実践しています。

その先輩は、「コロナ禍、傾聴に伺った3日後に永眠されました。(口号)

\*今後もお元気に活動してください。お話をポラ協会員一同お祈り申し上げます。(杉崎)



左から岸さん、立石さん、小川さん



# ボランティアさん募集！

## ☆福祉事業所における障がいのある方の縫製作業等の支援

依頼先：特定非営利活動法人ほっと ありす工房(中央区横山2-7-8)  
 日時：月・火・木曜日 午前9時30分～午後3時30分のうち、半日程度  
 ※希望する曜日・時間帯を教えてください(月1回から活動可)  
 内容：利用者と接しながら、織り布をバッグや小物等に縫製  
 ※自宅での作業も可(自宅への材料配達については応相談)  
 その他：駐車場あり(木曜日のみ)/交通費なし/マスク着用



## ☆高齢者通所施設における日課活動の支援

依頼先：チャオデイサービスセンター(中央区相模原4-7-14)  
 日時：月・火・水・木曜日 午前10時～11時30分  
 ※活動可能な曜日を教えてください(月1回から活動可)  
 ※1日1名の受入れのため、受付が早い方を優先します  
 内容：お茶出し、利用者のドライヤー掛けや話し相手など  
 その他：駐車場あり/交通費なし/マスク着用/初回顔合わせの際に、簡単な面談あり



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181

FAX 042 (786) 6182

メール [svc@sagamiharashishakyo.or.jp](mailto:svc@sagamiharashishakyo.or.jp)



《今月のイラスト  
 …ほっと一息、考え事。》

山口尚美画

### ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に  
 使わせていただきます。

<11月の寄付者>

14名の方からご寄付をいただきました。

<11月の寄付金>

総額 167,400円でした。

編集後記  
 数年前からぼらんの発送  
 をやっていたら広報委員に  
 なっていた。また委員会に  
 は出てないが、取材には参  
 加しました。これからは老  
 骨に鞭打って世のため人の  
 ため頑張ります。(高)

### 事務局からの お知らせ

★年末年始のお休み

事務局は12月29日(金)から1月3日(水)  
 までお休みとなります。

新年は1月4日(木)から業務を開始します。

よろしくお祈いします。